

目標達成計画

作成日: 令和 3年 1月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|---------------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 自己評価番号 | 出来ていない点・課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 40 ・ 41 | 当法人栄養部所属の管理栄養士等が立てた献立により、食に対する楽しみやバランスのとれたメニューを提供できているが、コロナ禍の状況に加え、食事時の面会にご家族が控えられる傾向があるため、どんな食事を提供しているかを伝えきれていない。 | 当事業所の献立の詳細の一部を、ご家族に周知する。 | 偶数月の利用料請求書の送付時に、前月の第1週の朝食・昼食・夕食の献立表を同封する。又、その一部については写真撮影し、併せて送る。 | 3ヶ月 |
| 2 | 25 ・ 52 | 重介護の方も増えてきた。日光浴を提供する意識が不足していると感じる。 | 各リビングから段差なく出られるデッキ兼中庭の強みを活かし、重介護利用者(車イス他操者)に、日光浴の場を提供する機会を増やす。 | 各ユニットとも、AM・PMのお茶の提供時にその日の天候や気温を勤務職員間で協議する。その結果、重介護者への日光浴が可能であれば、その機会を提供する。 | 3ヶ月 |
| 3 | 2 ・ 51 | 行事等の際は、その活動の写真を撮影し、広報誌及び事業所内写真掲示スペースを活用し、ご家族及び近隣住民に周知しているが、広報誌掲載NGの方、及び介護度が高く活動性の低い方の写真が少なく、利用者間でその枚数にバラツキがある。 | 全利用者の活動の様子をできる限り等しく撮影し、必要時にご覧いただけるようにする。 | 毎月、全利用者の写真のデータを最低5枚は残す。積み重なったデータの整理は管理者が2ヶ月に1度行う。 | 3ヶ月 |
| | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。